

秘密結社

声優はVisualに出るな！会議

TCVV

<http://www.tcvv.org>

TCVV 白書 3.5(インターネット公開版)

The TCVV White Paper-3.5(INET-ReleaseEdition)

-申し訳ございません号-

3.5

声優は Visual に出るな!会議

The council of 'Voice actors should not appear in Visual'

目次

1	TCVV 短観 [TCVV 短期アナレ観測調査]	3
1.1	概要	3
1.2	調査期間	3
1.3	極立つ業況	3
1.3.1	折笠富美子、大躍進	3
1.3.2	広橋涼、急上昇	3
1.3.3	大原さやか、期待して良い?	3
1.3.4	田中理恵、安定期	3
1.3.5	浅野真澄、安定期	3
1.3.6	渡辺明乃、キターーーー!	4
1.4	その他指標	4
2	「がんばれ!みやむーほちゃ」紙上篇	5
3	最後に言い訳	7

1 TCVV 短観 [TCVV 短期アニタレ観測調査]

1.1 概要

経済指標を示す「日銀短観(日本銀行短期経済観測調査)」の考え方を元にある期間に区切りアニタレを観察することにより今後の動向を予測する。

1.2 調査期間

西暦 2003 年 1 月～2003 年 8 月

本調査は予測であり内容を保証するものではありません。

1.3 極立つ業況

1.3.1 折笠富美子、大躍進

これまでの地道な活動が評価されたのか今期一番仕事が多いのではない?スクラップド・プリンセス、ガドガード、宇宙のステルヴィア、カレイド・スター、ストラトス・フォー等で主役級から脇役までこなす。声は単調であるが役を無難にこなしている。

今後の指標:鬼門と言える歌手活動を行なわなければ現状維持

1.3.2 広橋涼、急上昇

灰羽連盟で彗星のように出現し、今期いきなりカレイド・スターで主役、宇宙のステルヴィアでも出演。今後の指標:急速展開のリバウンドでやや低下

1.3.3 大原さやか、期待して良い?

基本的にお姉さま系の声であるが、癒し系からしっかりした声まで少なくとも3種類以上出る。その演技力から今期は折笠富美子同様に非常に出演が多い。今後の指標:安定的

1.3.4 田中理恵、安定期

今期予想より外れ堅調に推移し安定期に入りつつある。現在、ガンダム SEED、宇宙のステルヴィア、D・N・A ngel。来期は「円盤皇女ワるきゅーレ第2部」確定。声色が3種類あることが大きい。懸案の深夜依存度も徐々に低下。また今年、ファンクラブを結成し歌手活動においても年1月3日に2枚目のアルバムを出し9月には初ライブを予定。

ただし、これが業況を不透明にさせる要因となっている。今後の指標:やや低下

1.3.5 浅野真澄、安定期

声色は単色であるが独特の声質で上期から下期に勢力を延ばす。ただ、この声がいままで受けるかが問題であり、さらに9月には歌手活動を始める。今後の指標:横ばいから低下

1.3.6 渡辺明乃、キターーーー!

前回の予想通り渡辺明乃きた。主役級から脇役まで折笠富美子同様にこなす。
今後の指標:上昇

1.4 その他指標

1. 川澄綾子 (今後の指標:低下傾向)

安定した推移をしていたが今期は充電期間なのか出演数が非常に少ない。確定は「藍より青し〜縁〜」ぐらい。急激な躍進、かつ、単一声は寿命を縮めるのを暗示しているのか?
企画もの「ラブどる」では何故か歌手役になっている。謎である。

2. 清水愛 (今後の指標:低下)

「らいむ色効果」なのか基本的に声は単色傾向であるが出演回数は多い。スタチャと 81 プロデュースの組織力にて持っているようなもので基盤も脆弱。7月にシングル CD を出すが評価はイマイチ。

3. 堀江由衣 (今後の指標:平本意ながら現状維持)

スタチャ、アーツの「ポスト林原めぐみ」作戦で好調ではあるが必要性がないキャストでも出てくるのでやや濫用気味。しかも相変わらず単調が演技しか出来無い。ルックがなければ、とっくにいなくなっている存在といえる。本年、田村ゆかりとのユニット「やまとなでしこ」ツアーが挙行され集客力は健在。

「今年はライブ活動はしない」との方針を打ち出していたが「やまなこツアー」はライブではないのかと小一時間問い詰め...

4. 田村ゆかり: (今後の指標:現状維持)

御存知、堀江由衣の相方。二人して D.C. に出ており満足そう。アッパーからダウンナーまでこなせ、堀江由衣よりよっぽど演技力はあると思うが、歌手活動にも熱心なのでこれが業況を悪化させる原因となり得る。

5. 沢城みゆき (今後の指標:大幅下落)

予測通り低下。前期同様需要が少ない。レギュラーは「デ・ジ・キャラットによ」のみ。やはりブロッコリ依存度が大きいものが痛い。良いものを持っているだけに非常に危険な状態と言える。ブロッコリに明るい見通しが無い以上、ヤヴァイ。

6. 野川さくら (今後の指標:ゆっくり低下)

本人はどう考えているのか知らんが「勘違い声優」の代表格。単調な声しか出ないが何故か出演数が多い。アニパラ時代の面影が無く逆に横柄さが目立ちで視聴側から嫌気がさしている。歌手活動もかなり活発。ただし、Lantis の組織的な力で持続しているようなもので組織が見離すと大暴落する。当面は「さくらプロジェクト」で持つが単調な声のまま急激な出演本数の増加は大暴落を伴う傾向にあるので長期的には厳しい。

7. みっくす JUICE(中原麻衣/斉藤千和/森永理科/植田佳奈)

企画物の「混ぜ汁みっくす JUICE」は想像通り効果は無かった。

この中では意外な演技を見せる斉藤千和が一番安定している。LAST EXILE、R.O.D-THE-TV にも出演。中原麻衣、おねがい ツインズ、ミルモでポンに出演中だが長期安定性に疑問。植田佳奈、存在価値が見えず。TCVV 的に注目してた森永理科は一応、今期の VOICE CREW のパーソナリティだが、これも良くて半年の命。そもそも何をやりたいのか見えない。

今後の指標:森永理科 下落、植田佳奈 下落、斉藤千和 現状維持、中原麻衣ゆっくり下落

2 「がんばれ!みやむーほちゃ」紙上篇

声遣いに大切なこと～長期的成功をする条件とは?～

反みやむー分科会座長堀江由衣問題緊急対策本部

みなさん、こんにちは。

時間が無くて、いつもにも増して内容の無いものとなってしまいました。ということで紙面も時間も無いので、とっとと逝きます。

そうそう題名がいつもと違います。別段、宮村優子がいなくなって叩く相手がなくなったって訳でも無いんですがここ最近、堀江由衣、出演回数多くて**ウザい**と思いませんか?ちょいと前までは、あんましウザいと感じませんでしたが、ここまで多いとウザいを通り越して邪魔です。『鉄コミュニケーション』の時代は結構良いと思っていましたし、今でも一部の役柄では良い演技をすると思います。が、ここ最近猫も杓子も堀江由衣、堀江由衣、堀江由衣、堀江由衣って感じで、非常にウザいです。そー言えば、『十兵衛ちゃん2～シベリア柳生の逆襲～』において菜の花自由役が堀江由衣らしいです。もう、ショックで倒れそうになりました。小西寛子亡き後¹ 継げる者が他にいなかったのかと、人材不足が深刻なのでは無いかと痛烈に感じます。この度を越した堀江由衣の林原めぐみ化はどこまで侵攻するのでしょうか?不安でたまりません。そんな訳で今回はこんな題名にしてみました。

とまあ、枕はこのへんにして、今回の主題に入ろうかと思えます。アイドル声優という言葉も久しいのですが、上記堀江由衣のような華々しい活躍をなさるアナタ様とは対照的に地道にコツコツやってきた人々の花が咲きつつあることは御存知だろうか?

まあ、アーツやアホ2の売方が群を抜いているだけなのかも知れませんが...

実は声優界では密かに二極分化が進んでいるのではないかと考えられます。

今から4年前に出た『別冊宝島442 アニメ声優大百科』という雑誌。今や見る影もない宮村優子の表紙が目印です。もうこの時点で既に時代を感じさせます。

で、その中に「21世紀のボイススターの候補たち」という3ページ程度の特集があり新人達が紹介されています。売れると隠れてしまう生年月日までキチンと載って、さらにCDまで付いて来るといって大盤振舞いです。この中には当時新人だった浅野真澄、大原さやか、折笠富美子、能登麻美子というちょうど今ブレイクしつつある人々が登場しています。

なぜ、この人々を今さらの如く取り上げるのかと言えば、この人々達の特徴として下積みが長く、且つ「歌を歌わない」つまり歌手活動をしていないという点にあります。まあ歌手活動していなかったのは色んな理由があると思います。例えば、下手だから歌わなかったとか、下積み長くてCDデビューしてもらえなかったとか理由は様々だと思います。でも、結構じゃないですか歌手活動は本来の演技とは関係ありません。役者なのですから...

TCVVが歌手活動に注目しているのはそれなりの根拠・理由があります。

TCVVが出来てから7年経ちますが、歌手活動を始めると高い確率で声優としての仕事をしなくなるか存在自体が消滅するというデータがあります。椎名へきる、國府田マリ子しかり。小西寛子、丹下桜、岩男潤子しかり。

「おまいら、声優業は腰掛けだったのかと小一時間問い詰め...」

このようなことが続くとベテラン声優が空洞化してゆくと以前から懸念していました。が、ここへ来て救世主が出現したと思います。

¹死んではないが声優生命が断たれたという意味では同じ。

華やかなアニタレ様の影にかくれて、ひっそりと活動してきて花が咲いてきた上記人々です。この人々ならアニタレ様を駆逐する淘汰材料となって淘汰圧を高められるのではないかと期待しているのです。

まだデータとしてサンプル期間が10年満たないので検討の余地はありますが、声優として長い目で成功するかどうかは歌手活動するかしないかで、ほぼ決まると言って良いでしょう。

また、下積みが長い程、ブレイクするまでが長い程良くなる期待が持てます。いわゆる醸成期間ってヤツですかね。逆に言えば中長期的なスパンで見ると醸成期間の{無い|短い}人々は先が無いものと言えます。

ですから人工的に作られたアイドルの野川さくらなんぞ、3年後にはいないと確信します。棒読み千葉紗子なんて問題外です。

関東圏で7月から始まったD.C.(ダ・メーポダ・カーポ)。毎回、ストーリーの中心人物のCVのPVを流す作戦だそうです。本編の尺を削ってまでPV流すなんて本末転倒どころか常軌を逸しています。

まさにアニタレ様売り込みの王道を行くこの作戦。スタチャ、Lantisのやりそうなことです。声優のタレント化によってヲタク様には非常に受けが良い反面、ベテラン声優への道を閉じてしまう要素盛沢山なんですな。困ったことに企業なんて、所詮その時に儲かれば良いという理論なのでこうなってしまうのでしょう。

そー言えば浅野真澄。9月にCDデビュー²するそうです。歌手活動をはじめると短命に終わるというデータがあるのでイヤな予感がします。また、田中理恵も初ライブが本年9月に予定されています。これについてはチケットを入手しましたので直に見極めて来ます。

次から次へと歌手活動へ熱心になってゆく人々。

というか、

誰が歌手活動を望んでいるのでしょうか？

当の本人が望んでいる場合には、その人はもう駄目³だとして実際に望んでいる帳本人は概して企業や事務所サイドでしょう。

宮崎駿を弁護するつもりは毛頭無いけれど、ジャパニメーションとか浮かれて後先を考えない戦略はいつの日にか煮湯を飲まされるということが分っていないようです。

今回のまとめとして、声遣いとして中長期的に成功する条件は

1. 下積み時代に声が複数出るように訓練すること。
2. 歌手活動しないこと。

だと思います。つーか、凄く当たり前のことだと思うんですがね。

そして、私達は新人に注目してゆくことが重要で積極的に応援することが肝要ではないかと。

昨年の初夏からブレイクしはじめ、来年初春についにアニメ化される[小説]マリア様がみてる。アニメ化に際して、あの独特の雰囲気が出せるか、作画レベルが安定するのかとただでさえ不安なのに、もし、CVにアニタレ様方が声を当てるとなったら**私は倒れるか暴動を起こします。**

取り敢えずコバルト本誌10月号での詳細な発表をガクガクブルブルしながら待っています。

では、今回はこのへんにて。

²<http://www.starchild.co.jp/item/user/cgi/uItemDetail.cgi?SampleId=6&ItemId=3270&ApprovalFlag=1>

³駄目な人も結構多いのだが...

3 最後に言い訳

4回目のコミケット参加でやってしまいました。
毎回、どれ程本誌に期待している方がいるのか存知上げませんが今回は仕事が忙しくなっ
てしまい、全く原稿をまとめることが出来ずこのような不本意な形になったしまいました。
申し訳ありませんでした。

TCVVは**へたれ声優撲滅**のため参加することに意義があると考え、このよ
うな内容で代金を頂く訳には行かないと判断し今回は無料配布という形を取らせて頂きました。
次回は通常の形で行けるように努力致します。

あとですね、TCVVサイト (<http://www.tcvv.org/>) を自前サーバで運用する準備できました。
折りを見計らい移行します。

前回からの課題であった TCVV 短観。予想的中は、またも半分程度でした。
浮沈が激しい世界なのでホント分らんです。

短観と言えば、堀江由衣の人气が落ちないのが気にかかる所です。

事務所サイドのゴリ押しなのか知りませんが、必要性の無い場面でさえも出て来るので、

つい**カエレ!**と言いたくなります。

アニメ版『Maria様がみてる』で堀江由衣とか来たら私は怒りまくりますよ。ホントに。

さて、4月からのアニメの本数は何ですかね。しかも、深夜枠の充実は異常です。

忙しい人間は見るなって位の本数ですよ。もう。

製作サイドも流石に過負荷がかっているようでガード・ガードを落してしまう騒ぎも起ったりして、
主権者不在のどっかの国の政治よろしく視聴者置いてけぼりです。

本数の割に内容無いものが多く、見るだけ時間の無駄だったりして何もかも限界かと。声優も製作
サイドも。

こんなんぢゃぁ良い作品なんて作れっこないですよ。しかも、来期も何気に大変な数が用意されて
いますしい。

まぁ業界も大変なことは分ります。『ハンドメイド・マイ』を販売していたファイブウエイズが倒
産したりして「生き残るために必至だな」というのは分らなくも無いけど、所詮、ヲタク様は金つ
るとしか見られてれないんでしょうね。

(つーか、ホントに『ハンドメイド・マイ』は2巻以降出るんですか?)

てな感じでアニメ業界という漂流船は一体どこに流れ着くのでしょうか。

という訳でまた次回。

2003年8月16日 TCVV 議長 萱沼真一

TCVV 白書 3.5

発行 「声優は Visual に出るな!会議」情報管理部

組版 L^AT_EX2e (FreeBSD&Linux)

発行日

2003 年 8 月 16 日 (初版)

2003 年 9 月 20 日 (インターネット公開初版)

連絡先

「声優は Visual に出るな!会議」

代表者 萱沼真一

URI <http://www.tcvv.org/>

Copyright (C) 2003 The council of 'Voice actors should not appear in Visual'

本文に一切変更を加えず、この著作権表示を残す限り、この文章全体のいかなる媒体における複製および配布も許可する。